

## 愛知県生涯学習推進センター情報誌

<http://www.pref.aichi.jp/kyoiku/shogai/llcenter/>

編集・発行/愛知県生涯学習推進センター（愛知県教育委員会生涯学習課）

〒460-0001 名古屋市中区三の丸三丁目2番1号（愛知県東大手庁舎2階） TEL 052-961-5333 FAX 052-961-0232



### INDEX[目次]

- 特集「リカレント教育」…………… 1
- 講座・講習会、イベント情報…………… 3
- ボランティア活動紹介…………… 11
- 「学びネットあいち」より…………… 15
- ネットワーク機関紹介…………… 16
- 公民館活動紹介…………… 17
- 生涯学習推進センターより…………… 18

### 五感を使って学びましょう

#### - - Kid's College

NPO法人名古屋おやこセンターが実施している「Kid's College(キッズカレッジ)」は、五感を使って、つくって学ぶ「ものづくり」から(つくるたのしさ できたうれしさ)を子どもたちが体験できる場です。「今日は つくろうね」「え～めんどい」と始まることがあります。そんな時はスタッフが寄り添って声かけをします。頑張って仕上げると子どもが「自分ながらよく創れたな～」と言うのです。新しい自分をみつけてくれる活動を続けています。

# 「リカレント教育」

最近は、社会人が大学等を利用しやすいように、大学入学制度や科目履修などにも、いろいろな工夫がされています。今回の特集は、愛知県内の「リカレント教育」について紹介します。興味のある方、積極的に学んでみてはいかがでしょうか。

## 「リカレント教育」とは？

リカレントとは、「回歸する」、「還流する」、「循環する」という意味で、リカレント教育は社会人が、職業上の新たな知識・技術を習得するために、また、日常生活において人間性を高めるために必要とする高度で専門的な教育のことです。



## 愛知県内の大学等開放制度の実施状況

区分	大学院	大学	短期大学	高等専門学校	放送大学	専門学校	合計	
学校数	41	49	28	1	1	188	308	
開放制度実施校数	39	49	27	1	1	49	166	
開放制度	社会人特別選抜入試	35	40	20	1	-	26	122
	夜間大学院・学部学科	9	6	3	-	-	18	36
	昼夜開講制	22	6	2	-	-	4	34
	大学院・大学・短期大学通信教育	3	2	1	-	1	-	7
	3年次編入学	-	45	-	-	1	-	46
	聴講生・研究生	36	42	11	1	-	6	96
科目等履修生	35	47	24	1	1	12	120	

放送大学は大学院を含む

(平成17年6月 生涯学習課調べ)

この調査は、本県の生涯学習推進の基礎資料とするために高等教育機関を対象に行った。調査対象は、41大学院、49大学、28短期大学、1高等専門学校、1放送大学(大学院を含む)、188専門学校の計308校に実施。回収率は大学院、大学、短期大学、高等専門学校、放送大学は100%、専門学校は65.4%、計243校であった。

( 放送大学については、16ページに紹介があります )

### 社会人特別選抜入試とは

社会人が一般の志願者と同様に学力検査を受け大学に入学することは困難なため、入学者の選抜にあたり、社会人に対して学力検査を免除あるいは軽減し、小論文や面接等を中心に、経験や勉強意欲をみることに主眼を置いて行う制度

### 夜間大学院・学部学科とは

時間的に昼間の学習が困難な社会人に学習機会を与えるため、もっぱら夜間に授業を行う大学院・学部・学科

### 昼夜開講制とは

昼夜にわたって授業を開講し、社会人の生活形態に応じた履修を可能にする制度。大学院については、平成元年9月から修士課程で制度化され、学部、短期大学については、平成3年7月から制度化されている。

### 3年次編入学とは

更に高度の学習の機会を求める短期大学、高等専門学校、専門学校の卒業生等が、4年制大学等の3年次に入学することができる制度。また、大学卒業生が3年次に入学する学士入学の制度もある。

### 聴講生・研究生とは

教育課程の全部の履修を目的とする正規の学生と異なり、大学等の授業の一部を履修することを目的として、各大学等の学則によって慣行的に認められてきた制度

### 科目等履修生とは

大学学部等で開設されている授業科目の一部を履修し、正規の単位を修得できる制度。言い換えると前記の聴講生に正規の単位が授与できることとした制度

# 高齢社会における大学開放

新海 英行

(愛知学院大学情報社会政策学部 教授)

## ・生涯学習で「生き方」発見

2007年には団塊世代が定年を迎える。団塊世代の命名者、堺屋太一氏によれば、この世代の男性には生真面目な会社人間が少なくなると言う。退職と同時に居場所がなくなり、生きる目標も失って急に老け込まないか、今から心配である。ぜひとも、胸を張って晴れやかな第2の人生をスタートしたいものである。そのためには、会社人間から地域人間への変身を、言い換えれば職縁社会から地縁社会へのソフトランディング(軟着陸)を成功させなければならない。その鍵を握っているのが「生き方」や「生きがい」発見をさせてくれる生涯学習にほかならない。

## ・着実に増える大学で学ぶ高齢者

リカレント教育のルーツであるスウェーデンでは、大学生の1/3が高校から直接入学した学生で、2/3は成人学生である。退職した人々にとって大学は、リフレッシュする格好のチャンスを提供してくれる。驚くことに80歳代の大学生も珍しくないという。元検事・弁護士という高齢学生が法学の講義を聞いているそうで、さぞかし緊張感漂う教室にちがいない。

わが国でもキャンパスで学ぶ高齢者は着実に増えている。私が担当している4つの授業のい

ずれにも5,6名の社会人学生が聴講されている。時々研究室を訪れ、今取り組んでいる郷土史研究、子育てのボランティア活動、そしてIT学習支援のNPO活動など、熱っぽく話される。第2の人生の目標を見つけようと懸命に頑張っているみなさんから生涯学習への大学の役割の重さを知らされるひと時である。

## ・大学開放をとおして大学創造を

これまで市民のための生涯学習機関は、もっぱら公民館やカルチャーセンターであった。しかし、これからは大学も生涯学習機関の1つとして地域社会の生活や文化、とりわけ高齢化時代の生涯学習の発展にもっと貢献しなければならなくなった。大学と既存の生涯学習機関が連携・協働し、またお互いの得意分野を活かし合いながら地域社会の活性化のために寄与することは不可欠の要件となっている。大学にとっては、第3の使命とも言える地域社会への貢献が第1、第2の使命としての教育と研究の改革をももたらすからである。大学の地域開放をとおして高齢社会のニーズに応え、地域社会と共存する大学の創造を目指したいと切に思う。

# ボランティア活動紹介

今回は西三河地区特集です。

## できることから始めよう

吉良若桐会は、平成4年に「資源と環境問題を勉強しよう」「主婦でできることをしよう」と発足しました。会員数は22名です。今では、「リサイクル」という言葉を理解しない人はいないと言っていいでしょう。私たち人や生物は、自然のサイクルの繰り返しの中で生活していません。海や川の水を汚している原因の57%は生活排水と言われます。台所を預かる主婦として、汚名を返上したいところです。

会の発足当初は牛乳パックを使って、作品作り(ハガキをすいたり、紙すき、小物作り)をして、イベント等で発表していました。平成5年8月、夏の暑い盛りに、資源と環境問題を考えて、ゴミ減量に向けて資源ゴミの回収「リサイクルステーション」を開設しました。毎月第二土曜日の午前10時から午後2時まで開催します。最初の頃は、長年大事に保管されていた衣類や本、雑誌、また資源というより「危険物」になるものが多くありましたが、今は皆さんに理解されて、ゴミも資源としてきちんと分類して持って来てくださいます。土曜日に開催しているので、子どもさんがお母さんと一緒に持って来てくださることもあり、そういうときは嬉しくなります。

リサイクルステーションを開設して13年目になり、参加してくださる方も一回約90～100名位います。この



リサイクルステーションが、私たちの啓発活動の場にもなっています。廃油石けんや微生物による生ゴミを堆肥化する「ボカシ」や、生活排水の浄化に役立つ「EM活性液」を無料で配布しています。

当日は、8人くらいで作業に当たります。夏の暑い日、冬の寒い厳しい日もありますが、大勢のお客さんが次から次へと来てくださいますと「あっ」と言う間に一日が終わります。会員が都合で一度に何人が休むことがあると困りますが、男性が応援してくださることもあり助かっています。



回収に協力してくださるお客さまと、私たち一人ひとりが、共に成長し合えるステーションであることを願っています。このステーションの他に作品作り、研修会、見学会、料理教室、イベント参加等があります。無理をしないで、楽しさを見つけながら活動することをモットーに頑張っています。

一本の木が成長するには何十年かかります。一枚の紙を大切に使いましょう。

### 吉良若桐会

代表者 : 尾崎 久仁枝  
 活動場所 : 吉良町白浜老人憩の家、  
 吉良町社協・ボランティアセンター  
 ふれあいルーム  
 連絡先 : 自宅  
 TEL : 0563-32-0193

## ず〜っと住みたいまちに！ 生涯学習を通して

広々とした碧海台地を見晴らす道を歩きながらの白髪の男性「う〜ん、長年安城に住んでいるけど、こんなにいいところが安城にあったんだねー。」お父さんとお母さんと一緒に小学生の子供さんは「久しぶりに手をつないで歩いたよ。」第6回「フラワーロードと緑道ウォーキング」でもれ聞こえたことばです。このように、参加者のこもごもの会話が私たちの活動の成果のバロメーターになっています。

私たち「安城市生涯学習まちづくり企画人」は、平成9年、市の「市民による市民のための生涯学習企画を」との趣旨に賛同し、応募した15人の人々によって活動が開始されました。8年を経た今年も「企画人」は、“わくわく、どきどき”新しい発見をすることを学習の重要な要素とし、安城にこだわったユニークな学習事業をと、知恵を絞っています。参加した市民の一人ひとりが「見て！聞いて！触れて！体感する！」ことにより、ふるさと安城をさらに知り、豊かな調和のとれた市民生活を送ることの一助になればと願っています。今年も右のような企画を行いました。



【ガイドボランティアを目指して！  
学習中の面々】

【創年塾「で・や・い」  
パネルディスカッション  
風景】



### ガイドボランティア養成講座

平成17年4月9日(土)より全6回講座

安城の歴史と史跡に触れ、世代を超えてふるさと安城をガイドできる人材を育成する。対象はどなたでも。

### 遊んで！学んで！安城再発見ウォーキング

平成17年4月24日(日)

私たちのまち安城をめぐりながら、現在と歴史に触れ新たな発見を楽しもう。対象はどなたでも。

### 「創年塾」で・や・い

平成17年9月25日(日)より全5回講座

壮年から老年の間をつなぐ第3の世代として社会に繋がり活動する創年世代を創り出すために、さまざまな方向を考える。60、70は創年世代！対象は定年まちかの方、毎日が日曜日の方、子育てを終えた方。

### フラワーロード・緑道ウォーキング

平成17年10月23日(日)

商店街サンクスフェスタ会場とデンパークを結ぶ「明治用水緑道とフラワーロード」を歩き、秋を満喫しつつ「クリーン活動も」という欲張りウォーキング。対象はどなたでも。

### モノづくり探訪

平成17年11月23日(祝)

モノ作り王国を支えるわが安城の若き技術者の研鑽の一端を見学するとともに、安城市歴史博物館にて日本人のものづくりのルーツである火起し・土器の製作に挑戦する。対象はどなたでも。

### 安城市生涯学習まちづくり企画人

代表者：小森 義史

活動場所：安城市生涯学習ボランティアセンター

連絡先：安城市生涯学習まちづくり企画人

T E L：0566-76-1630

E - m a i l：kikakubito\_anjo@yahoo.co.jp

## 鬼瓦でまちづくり

高浜市は全国でも有数の瓦の産地です。その伝統産業を生かしてまちづくりにつなげようと発足したのが、「鬼みち案内人の会」です。

「鬼のみち」は、名鉄三河線高浜港駅からかわら美術館、大山緑地を通り三河高浜駅に到着するまでの全長4、5kmの道のりで、装飾や魔よけを兼ねた個性的な鬼瓦に出会える散策コースになっています。他にも、瓦材を敷き詰めた道や由緒ある道祖神など、見どころはたくさんあります。この高浜の街並みは平成16年12月に日本ウォーキング協会から「美しい日本の歩きたくなるみち500選」の1つに選ばれています。

このコースでボランティアガイドを行うのが、私たち「鬼みち案内人の会」です。平成11年1月の結成以来、学習会や他地域の観光ガイドボランティア団体との交流会を行うなど、自主的な勉強会を続けながら今日に至っています。学習を重ねる中で、思わぬお宝や新しい史実に出会うこともしばしば。例えば、屋根の上に注意しながら歩くと、「鬼瓦」から連想する迫力あふれる形相の他にも、天女やお多福さんなど愛らしい姿の飾り瓦があることに気がきます。これは、家主の趣味や願いを反映したものであり、先人が地域の産業に誇りを持っていたことを示すものです。こうした先人の残した遺産を大切に受け継いでいきたいと、研究にもいっそう力が入ります。



【コースの途中にある「サロン赤窯」】

こういった私たちの活動を支えるのが、利用者の方との出会いです。小学生からご年配の方まで、さまざまな方と語りながら鬼のみちを歩き、ふるさとの文化を紹介できることが、私たちの最大の喜びです。「へー、すごい」「こんなものが高浜にあったんだね」「教えてもらわなかったら、見過ごすところだった」など、いろいろな感想がありますが、最後に「ありがとう」の感謝の言葉をいただくと、私たちの疲れも一気に吹き飛びます。

人と人との出会いを大切に、それをだんだんと大きなものに育て上げ、魅力的なまちづくりにつなげられたらと考えています。平成18年11月に開催される「地域づくり団体全国研修交流会愛知大会」では、高浜市が分科会の会場となる予定です。そこで、私たち「鬼みち案内人の会」も、他のグループと連携を取りながら高浜の魅力をみなさまに知っていただく準備を進めています。これを機会に、瓦のまち高浜に遊びに来てね。



【案内風景】

### 鬼みち案内人の会

代表者 : 宇井 一夫  
 活動場所 : 鬼のみち（森前公園周辺）  
 連絡先 : サロン赤窯（木・土・日のみ）  
 高浜市観光協会（月曜休業）  
 TEL : 0566-52-6900（サロン赤窯）  
 0566-52-3366（高浜市観光協会）

## アマチュア無線で連絡・報告

～ 災害発生時、アマチュア無線で災害対策本部(町当局)各避難所との

連絡・報告などボランティアとして活動します～

平成7年1月17日、阪神淡路大震災が発生しました。このとき電話は不通となり、連絡する事が出来なくなりました。この時点で連絡を取りあったのはアマチュア無線の各局の方々でしたが、この連絡はそれぞれの局が勝手に発信したので、周波数の混信を招き、通信は大混乱をしてしまいました。この事態を日本アマチュア無線連盟の機関誌で知り、もし我々の町が災害に遭ったとき、町内のアマチュア無線局が関西の二の舞をしないよう統括を図る必要を感じたため、町内のアマチュア無線局(無線局免許所有者)を説得勧誘し、災害ボランティアとして活動を要請しました。

平成7年7月7日、参加会員77名をもって「一色町防災ハム連絡協議会」を発足、一色町社会福祉協議会に災害ボランティアとして登録しました。

その後、一色町防災ハム連絡協議会会員の災害時の対策マニュアルを作成しました。この詳細にわたるマニュアルは、一色町のホームページにも掲載しており、各地の防災ハムの団体にも参考利用されています。

発足をして10年、現在は町の防災訓練時に通信の一翼を担い活躍しています。また、地域のケーブルテレビ局に災害時の情報提供の為に無線ファックスの通信をおこなったり、近隣市町の防災ハムクラブとも連携を取りあい、災害時に備え懇親をはかっています。



一色町文化祭会場では、一色町防災ハム連絡協議会会員による通信公開実験をし、防災ハムのPRに努めています。また、小・中学生のアマチュア無線免許国家試験受験の学習にも一色町防災ハム連絡協議会会員が指導しています。



一色町防災ハム連絡協議会  
JI2ZVF

代表者 : 会長 榊原 稔  
活動場所 : 主として一色町内  
連絡先 : 会長宅  
TEL : 0563-73-4602

## 親子ふれあいひろば



### 小林 浩子

活動場所：蒲郡市保健センター・  
市民会館・児童館

連絡先：蒲郡市教育委員会生涯学習課  
TEL：0533-66-1167

「ここは、(ここは、)ここは、(ここは、)みんなの……ふれあいひろば～」の歌で「親子ふれあいひろば」が始まります。このひろばは、蒲郡市生涯学習課主催で未入园児とその親を対象に、子育てネットワークが企画運営しています。一年を前期・後期に分け、各30組の親子を広報で募集しますが、抽選になるほどの盛況ぶりです。一番人気は、バスを使っての遠足です。ピー組(大きい子組)は豊橋動植物園へ、ひよこ組(小さい子組)は、豊川市のぎょぎょランドへお弁当を持って出掛けます。この遠足で初めてバスに乗る子もいて、とても賑やかで、また、お友達になれる良い機会になっています。他には、「保健師さんのお話」「親子遊び」「夏のプール遊び」などがあり、この後は12月の「クリスマス会」が楽しみです。

これからも笑顔いっぱいの親子に会えるよう、ネットワークの仲間・社会教育指導員の先生方と活動していきたいです。

## 「学びネットあいち」からのお知らせ

お役立ち情報がいっぱい！「暮らしに役立つ情報館！」

<http://www.manabi.pref.aichi.jp/general/gaido/kurasi/top.htm>

「学びネットあいち」には、私たちの住む愛知県のような統計データやまちづくり、産業、環境についての情報など、知っていると「得」をすることがいっぱいの学習コンテンツを集めた「暮らしに役立つ情報館！」というページがあります。

最近は法律や食生活に関する学習コンテンツが増え、今後もまだまだ充実させていく予定です。ぜひ一度、アクセスしてみてください。



## 学ぶ理由は十人十色 ～ 放送大学愛知学習センター ～



【愛知学習センター 再視聴室】

住所：名古屋市昭和区八事本町 101-2  
中京大学センタービル 4F

電話：052 - 831 - 1771

FAX：052 - 831 - 1777

閉室日：毎週月曜日、祝祭日、年末年始

ホームページ：<http://www.u-air.ac.jp/>

放送大学は、昭和56年(1981)に公布された「放送大学学園法」によって、国民の皆様幅広く生涯学習の機会を提供することを目的とし、テレビ・ラジオの放送を利用する新しいタイプの生涯学習機関として設立され、昭和60年から放送による授業を開始しました。現在、全国都道府県に50ヶ所の学習センターと7ヶ所のサテライトスペースを設置し、300の授業科目に、10万人の学生が自宅や学習センター、あるいは勤務先等々で毎日学習しています。

愛知学習センターは平成4年10月に設置され、現在、大学院生224名、学部生2,980名の計3,204名の学生登録があり、東海地方の拠点センターとして、愛知県教育委員会の協力を頂きながら地域の生涯学習機関と連携を深めつつ、生涯教育の振興に大きく寄与しています。

放送大学では、平成17年12月15日から平成18年2月28日までの間、平成18年第一学期(4月入学)の学生を募集しています。学ぶ理由は十人十色です。放送大学で一度学んでみませんか。詳しくは、愛知学習センターまでお問い合わせ下さい。

「ネットワーク機関」とは生涯学習情報を「学びネットあいち」に提供して下さる生涯学習関連機関・団体で、随時募集しています。  
詳しくは愛知県生涯学習推進センター(電話 052-961-5333)にお問合せいただくか、ホームページ(<http://www.manabi.pref.aichi.jp/>)をご覧ください。

## 貨幣の文化にふれてみませんか ～ UFJ銀行貨幣資料館 ～

UFJ銀行貨幣資料館は、名古屋栄の広小路通沿い、石造5階建ての落ち着いた風情の建物に開館しています。日本を始め、古今東西にわたる世界の貨幣約一万点を体系的に展示し、民間では日本一のコレクションと高く評価されています。

日本の貨幣では、世界最大の金貨・豊臣秀吉の天正沢瀉(おもたか)大判、江戸時代の各種大判・小判、オークションで話題になった明治の金貨などを展示しています。紙幣では、忠臣蔵で有名な播州赤穂藩の藩札、慶応4年の太政官札、昭和2年金融恐慌時に製造された式百円札、昭和21年の新円切替証紙貼り紙幣などをご覧ください。

貨幣は、それらが流通した時代の文化・経済状況を如実に反映しています。世界最古の貨幣・古代中国の貝貨(ばいか)が使われた時代には、どんな暮らしがあったのでしょうか。明治4年に発行された二十円金貨からは、世界に伍して行こうとする明治新政府の意気込みが、ふつふつと伝わります。昭和20年に愛知県瀬戸市で製造された陶貨を見ると、困難な時代を目の当たりにする思いがします。

あなたも貨幣資料館で、貨幣の文化にふれてみませんか。

(なお、平成18年1月1日より館の名称が「三菱東京UFJ銀行貨幣資料館」となります)



【外観】

住所：名古屋市中区錦2丁目20番25号

電話：052 - 211 - 1111(代)

FAX：052 - 222 - 2455

入館料：無料

(団体見学の方は事前にご連絡ください)

開館時間：平日 9:00～16:00

(入館は 15:30 まで)

休館日：土・日・祝日(銀行窓口休業日)

～特色のある公民館活動を紹介～

# 地域に根ざした公民館活動 ー御津町ー

御津町は三河湾の最奥部に位置し、「光る海、輝く緑、MITO」をキャッチフレーズに、気候温暖で風光明媚な町です。御津町では、生涯学習推進基本構想の基、生涯教育を推進、その実現に努めています。

中央公民館は昭和50年に建築され、年間利用者数約4万人となっています。社会教育事業での「公民館講座」・「寿大学」を中核に、事業推進に関わる施設として、その役割を果たしています。



【中央公民館】



【寿大学】

## (1)公民館講座

自主運営を基本に、ボトム・アップの学習形態で、自分で主体的に学ぶことを目的としています。38講座を開設、受講者総数598名で、その内、町外の方が16%程を占めるなど、広域としての文化向上に寄与しています。



【公民館講座(社交ダンス教室)】

## (2)寿大学

60歳以上を対象として、毎年5月より10月にかけて5回開催します。健康、教養、人生、地歌舞伎、郷土史話を基本ジャンルに実施しています。

## (3)社会教育事業等の支援

子育て支援ネットワーク

対象は乳幼児を持つ親子で、子育てネットワークの指導により、親子の遊びをとおして子育てに関する学習活動、交流活動を行っています。

健やかな子どもを育てる家庭教育講座

サタデークラブ

学校週5日制の推進として、小・中学生とその保護者を対象に、平成7年より実施しています。同じ目的・意識を持って活動することで、町内南・北2校の小学生同士の交流、中学生を含めた異年齢の子ども同士の交流を深めることに役立っています。

親子ふれあい自然観察会

親子で郷土の自然を体験することで、郷土を知り、郷土を愛する子どもたちを育成するとの主旨で行っています。



【子育て支援ネットワーク】



【サタデークラブ(水彩画)】

「人は環境によって創られる」と云われますが、環境は人によって創られるものです。

「施設は人なり」と云われますが、現状の施設・設備を有効に活用し、それらに新たな心を吹き込み、多くの利用者の「心のオアシス」になればと活動しています。

# 生涯学習推進センターからのお知らせ

## 「生涯学習イベントの日」が開催されました！



平成17年11月5日(土)、愛知県生涯学習推進センターにて「生涯学習イベントの日」が開催されました。

名フィル室内楽コンサートや京都霊山歴史館学芸課長 木村幸比古氏の講演会をはじめ、パソコン講座や様々な体験コーナー、学習サークルによるステージ発表・作品展示などが行われました。当日は天候にも恵まれ、600人を超える方々にご来館いただき、一日中活気にあふれました。



2月には、「四季の企画展～冬色染まる展覧会～」(展示のみ)を開催する予定です。入場無料ですので、ぜひお越しください。



## 愛 知 県 生 涯 学 習 推 進 セ ン タ ー

開館時間	9:00～21:00
休館日	日曜・年末年始
電話	052-961-5333
FAX	052-961-0232
ホームページ	<a href="http://www.pref.aichi.jp/kyoiku/shogai/llcenter/">http://www.pref.aichi.jp/kyoiku/shogai/llcenter/</a>
メール	syogaigakushu@pref.aichi.lg.jp

### 交通案内

地下鉄「市役所」駅2番出口東へ徒歩約3分  
 名鉄瀬戸線「東大手」駅南へ徒歩約4分  
 基幹バス「市役所」下車東へ徒歩約5分  
 駐車台数に限りがありますので、公共交通機関のご利用にご協力ください。



## 瀬戸蔵ミュージアム



【瀬戸蔵外観】



【旧尾張瀬戸駅】



【陶房(モロ)】



【窯場】



生涯学習のマスコット“マナビ”

この印刷物は古紙再生紙を使用しています。

瀬戸の拠点施設 <sup>せとくら</sup> 瀬戸蔵が開館しました。

～瀬戸を知りたいあなたに最初に訪れていただきたい瀬戸蔵～

平成17年3月19日、愛・地球博開幕に合わせて、複合施設「瀬戸蔵」が開館しました。「瀬戸蔵」は、瀬戸蔵ミュージアムをはじめ、小ホール、やきものを取り扱うショップやレストランなど多くの市民や観光客が集まる施設です。「産業」「観光」「市民交流」をテーマとして、市民に親しまれる施設づくりがハード・ソフト面ともに行われています。例えば、この施設の名称「瀬戸蔵」も、「いろいろなものが詰まったイメージ」として市民からの名称応募により決まりました。

「瀬戸蔵」の2階と3階にある瀬戸蔵ミュージアムは、瀬戸焼の総合ミュージアムとして開館し、瀬戸焼の歩みの紹介や、やきものづくりに欠かせない道具・機械などを展示しています。

このミュージアムの大きな特徴としては、瀬戸1,000年以上の窯業史の中で最も劇的な変化を見せた<瀬戸の20世紀>をテーマとして、その時代を象徴する建物群(石炭窯、工場、旧尾張瀬戸駅など)をジオラマで再現し、やきものまちな瀬戸を体感していただけることが挙げられます。また入口では、“せともの”の重要な輸送手段であった「瀬戸線」で昭和40年代に活躍した車両モ750型(754号)がみなさんを出迎え、<瀬戸の20世紀>の世界へと誘います。

開館時間	午前9時～午後6時(入館は午後5時30分まで)
休館日	無休(ただし、年末年始 12/28～1/4 は休館)
入館料	一般500円、高校・大学生・65才以上300円、中学生以下無料
電話	0561-97-1555
FAX	0561-97-1557
Mail	setogura@city.seto.lg.jp
HP	http://www.city.seto.aichi.jp
住所	(〒489-0813)瀬戸市蔵所町1番地の1

編集・発行 / 愛知県生涯学習推進センター(愛知県教育委員会生涯学習課)  
平成17年12月 8,000部発行  
〒460-0001 名古屋市中区三の丸三丁目2番1号 電話 052-961-5333

